

2025 アジアビーチスプリントファイナルズ（中国、舟山）ITO 参加報告

東京都ローイング協会所属
国際審判員 山崎 佳奈子

【はじめに】

2025 年 9 月 11 日（木）から 9 月 13 日（土）、中国・舟山で開催された 2025 アジアビーチスプリントファイナルズに International Technical Officials (ITO) として審判参加させていただきましたので、以下ご報告させていただきます。

【大会概要】

日 時： 2025 年 9 月 11 日（木）～9 月 13 日（土）

コース： Nansha Beach, Zhoushan, China

種 目： <シニア種目>（5 種目）

CM1x、CW1x、CM2x、CW2x、CMix2x

<U19 種目>（5 種目）

CM1x、CW1x、CM2x、CW2x、CMix2x

参加国： KUW、HKG、IRQ、UAE、JPN、THA、SGP、MAS、INA、CHN、KSA（11 ヶ国）

2025 年 8 月にタイ、パタヤで「アジアビーチスプリント選手権」が開催されましたが、翌月の 9 月に中国、舟山で「アジアビーチスプリントファイナルズ」が開催されました。この大会はアジアのビーチスプリント発展国を対象としたデベロップメントプログラムを採用しており、このプログラムで参加している国がいくつかありました。



【コース概要】

中国、舟山は浙江省東北の東シナ海にある 2,000 超の島嶼から構成されている都市で、普陀山（Putuoshan）が観光スポットとしては有名で、会場の南沙（Nansha）ビーチは海水浴場としても人気だそうです。

そのビーチにブイを張った特設コースを使用しています。今回のコースは潮の満ち引きが大きく、午前中と午後では砂浜から水際までの距離がかなり違ってきます。

そのため、午後になるとスタート／フィニッシュライン近くまで波が来るので、最後のフラッグはほぼ水平に走って回る形になりました。



【参加 ITO 審判員】

President of Jury : SIU Kin Wah (1228/香港)

Jury : 5 名

SUN Yingzi (1861/中国), LEUNG Ying Kit (1838/香港), YAMAZAKI Kanako (1782/日本), AHMAD Ahmad Faizal (1761/シンガポール), BOOTSATHIEN Winmonrad (1872/タイ) ※()は(WR 審判番号/国)

ビーチスプリントということで少数の審判運営のため、Turning Mark 審判、レーン審判は NTO が担当しました。

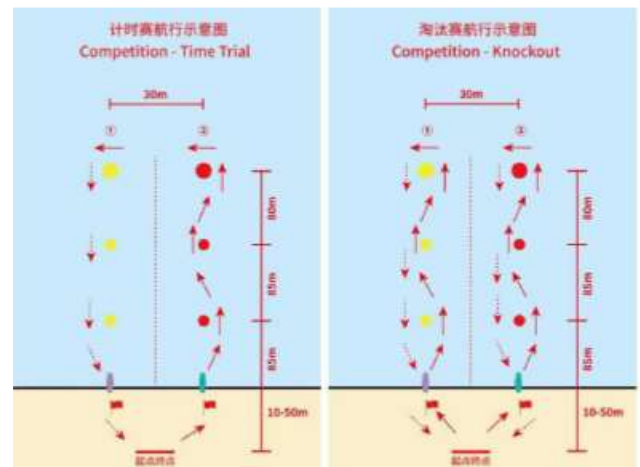
【審判ミーティング】

審判ミーティングは前日 10 日に行われ、POJ の Dr. SIU より以下の説明がありました。

- (1) 潮の満ち引きが激しいので午前、午後と走る距離が変わる
- (2) 今回の審判服装は支給されたポロシャツと WR 審判バッジを着用する
- (3) タイムトライアルでは最初と最後に陸上フラッグを回る
- (4) タイムトライアルでのボート数は 8 艇
- (5) KO ノックアウト (1 対 1 のレース) では最初の陸上フラッグは回らなくて良い
- (6) タイムトライアルは 60 秒間隔で発艇する
- (7) ブイを転回しない、正しい方向に転回しない場合は DNF とする (2025 年より WR 採用ルール)
- (8) 陸上フラッグを回らなかった場合は 10 秒のタイムペナルティ (KO は帰りのみ)
- (9) ボートセッティングを許可されている以上に変えた場合は 30 秒のタイムペナルティ (2025 年より WR 採用ルール)



審判シャツ (2 枚支給)



タイムトライアル

ノックアウト

- (10) チャレンジは大会中 1 回のみ、クルーが行える。チャレンジカードはレース終了後 5 分以内に提出
- (11) レーン選択は最初の QF (準々決勝) の 10 分前、QF でのレーン選択は SF (準決勝)、FA・FB (決勝・順位決定) に適用される (2025 年より WR 採用ルール)

【チームマネージャーミーティング】

午後から行われたチームマネージャーミーティングと抽選には各国のコーチが出席し、ロールコール (各国の出欠を取る) の後抽選、その後上記審判ミーティングでの説明の他に、以下の説明が OC および POJ よりありました。

(1) **WR** ルールではボートハンドラーは男性 1 名、女性 1 名であるが、確保できない（女性が居ない）国もあるため、これに限らない（男性 2 名でも良い）

(2) OC はボートハンドラーを 6 名確保している（男性 3 名、女性 3 名）

(3) 天候不良により、ボートハンドラーを増やすことも可能なので、その場合は相談してほしい。

(4) ハンドラーは肩が水に浸かるまでは海に入れるが、それ以上は入ってはいけない

(5) ハンドラーは手（腕）による方向指示はできるが、視覚補助道具（何か物を持つなど）を使用しない

(6) ハンドラーはランナーが降りても必ずボートを保持すること

などの説明があったが、(1)に関しては不公平になるので **WR** ルール通りにしてはとの声が上がりました。

OC としては「デベロップメントの国は女性ハンドラーを用意できない国もあるので（普及的な意味合いもあり）柔軟に対応したい」POJ からは「**WR** ルールに従うか、今回の大会は柔軟に対応するか、挙手できよう」との提案もありましたが、どちらも挙手をした国がまばらで決まらず、結局は「ハンドラーに不安があれば OC からハンドラーを追加する」という説明で男性ハンドラー 2 名が許容される形になりました。

【開会式】9/11

レースの前にビーチにて開会式が行われ、ARF 役員、現地 OC 役員の挨拶の後、審判の「Swear（裁判員宣誓）」がありました。前日のくじ引きでシンガポールの AHMAD がこの大役を担うことになり、宣誓を行いました。

<宣誓文>

"On behalf of all juries, I swear that during the competition, I will strictly abide by the competition rules and regulations, obey the instructions, and enforce the law in a serious, fair, impartial and accurate manner. I will respect the participating athletes and successfully complete the tasks."



開会式での審判員宣誓

「審判員全員を代表して、私は競技期間中、競技規則および規定を厳格に遵守し、指示に従い、真摯かつ公正、公平かつ正確に法律を執行することを誓います。参加選手を尊重し、任務を完遂します。」

何度か国際大会、アジア大会に審判参加していますが、審判の宣誓を見たのは初めてでしたので新鮮でした。

【9月11日】タイムトライアル・予選・敗者復活

[午前・レース審判]

レース審判はスタートからフィニッシュまで、正しく旗、ブイを転回しているかを注視し、フィニッシュにそれを旗で知らせる役目です。白旗であれば「問題無し」赤旗であれば「転回ミス（DNF）もしくはタイムペナルティあり」を知らせます。

レース審判は本来両方のレーンを見通せる位置が良いのですが、場所的に 1 レーン側にいたため、スタートする 2 レーンの見通しが悪い状態でした。UAE と SGP が最初の陸上フラッグを転回せず 10 秒のペナル

ティがありましたが、うち SGP はレーン審判が白旗を上げたため、見落としてしまい、その後フィニッシュでペナルティプラスタイム修正しました。

[午後・スターター]

タイムトライアルのスターターは 60 秒間隔でスタートするとすぐに次のボートを水上に配置するよう号令をかけ、またスタートするという忙しいものでした。

- (1) 30 秒前 “国名, Take your boat to the water”
- (2) 20 秒前～“Get ready”
- (3) “Attention”
- (4) スタートボタンとフーターを同時に鳴らす

繰り返し



これをひたすら続け、さながら「発艇職人」のようだと感じました。



発艇台



レーン審判席



スタートシステム（逆の手でフーターを押す）



フィニッシュは左図にあるブザーを選手が押すのですが、タイムトライアル時に何度かブザーを押しても鳴らない時があり、その場合はフィニッシュがバックアップのストップウォッチ（NTO が計測）を見ながらマイナスタイム修正をしていました。

午後の途中からロックアウト方式になり、従来の発艇号令になりました。

- (1) 3 分前 “Three minutes”
- (2) 1 分前 “One minute, Put the boat on the water”
- (3) 20 秒前～ “Get ready”
- (4) “Attention”
- (5) スタートボタンとフーターを同時に鳴らす

【9 月 12 日】敗者復活・準決勝・決勝

[午前・フィニッシュ]

この日は U19 の準々決勝、準決勝、決勝、シニアの敗者復活戦が行われました。シニア CW1x の敗者復活戦では UAE が最後の旗を回り損ねてタイムペナルティ 10 秒、SGP が 2 つ目のブイを回り損ねて DNF となりました。

ビーチスプリントでは 3 分前～1 分前まで音楽とともに DJ の選手紹介が始まります。この日はシニアの CMix2x の準決勝、決勝が行われましたが、日本のクルーが出場すると J-POP の曲が流れ、レースを盛り上げていました。おそらくそれぞれの国の曲を流しているのだらうと思いました。

途中 1 レーンの第 1 ブイが流され、レースが中断しました。結果 15 分遅れで再開しました。

[午後・監視長]

監視の仕事は選手の ID チェックから始まります。この大会では選手の顔写真入りの AD カードが無いいため、レースの 20 分前から選手はパスポートを提示し名前のチェックを受けた後、パスポートと一緒に顔写真を撮影し、それを証拠とします。

名前のチェックと並行し、クルーはレーン選択を行います。敗者復活戦までのレーン選択権はその前の予選タイムの速い方にプライオリティがあります。コーチはぎりぎりまでコースを見ながら、有利なレーンを選び選択をします。タイムの遅い方のクルーには選択権はありませんが、速いクルーがレーン選択を放棄した場合、遅いクルーが選択をすることができます。

レーン選択は予選、敗者復活戦まではこの方式で選び、準々決勝からは、先の審判ミーティング内容 **(11)** に記載した**(11)レーン選択は最初の QF（準々決勝）の 10 分前、QF でのレーン選択は SF（準決勝）、FA・FB（決勝・順位決定）に適用される（2025 年より WR 採用ルール）**に基づいて、最初の QF の 10 分前に 8 クルーがそれぞれ希望するレーンを監視に伝えます。（これが後々論議を呼ぶこととなります。）

【9 月 13 日】準々決勝・準決勝・決勝

[チャレンジ審判]

最終日はチャレンジ審判でした。チャレンジ審判というのは、レースで不利益を受けたクルーが「チャレンジ」と言って大会中 1 回だけチャレンジカードを提示して抗議をすることができるルールです。

チャレンジ審判はチャレンジが起きた時、スターター、レーン審判、レース審判、フィニッシュなど、関係する部署の審判に状況を確認し、情報を収集した上でチャレンジを受け入れるか、受け入れないかを決める役目です。大会中に 1 回しかカードを使えないということもあり、チャレンジする国は皆無でしたので、監視に入りレーン選択を担当しました。

ここで、先述した論議を生む状況になりました。

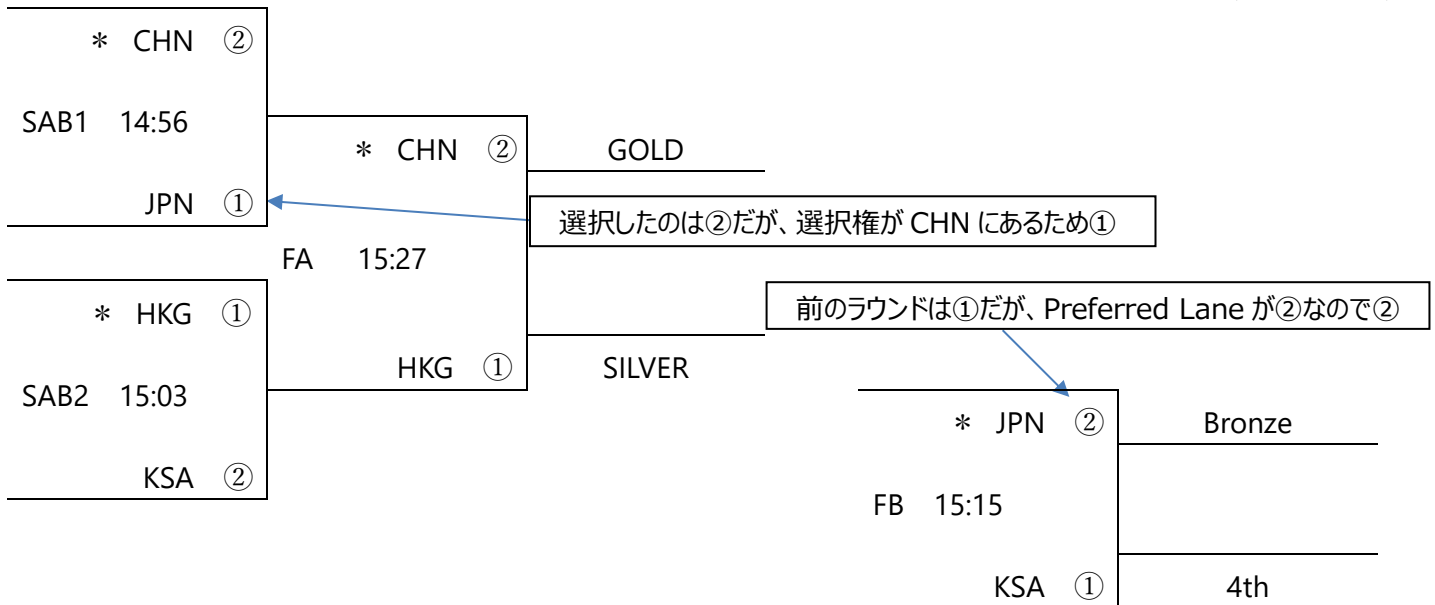
昨年までは、レーンの選択は QF、F、FA、FB とも前のラウンドのタイムが速いクルーがレーンを選択していましたが、2025 年よりルールが変わり、QF に進むクルーが最初の QF の 10 分前にそれぞれ Preferred Lane（好きなレーン）を選択します。レーン選択の煩雑な手続きが減るということでは審判には楽なルールかもしれませんが、これには問題もあり、風向きや波の状況により、QF から F までの間に状況が変わる可能性があります。一度選択したレーンは SF、FA、FB を通して**変更することができません**。

レーンの選択権は前のラウンドのタイムの速いクルーにあるのですが、レーンは前のラウンドのレーンではなく、最初に選んだレーンになります。

<CMix2x のレーン選択例>

Preferred Lane	CHN ②	JPN ②	HKG ①	KSA ①
----------------	-------	-------	-------	-------

* は前のラウンドタイムの速い方（選択権あり）



昨年とは変わっているこのルールは、先のタイ・パタヤでの Asian Beach Sprint Games でも論議を生み、POJ が WR のルールを示して説明したとのことです。

<WR RCB Rule 13 – The Draw and Determining the Lanes>

3) After the first round of racing, the lane determination for following rounds which do not use processional time trials shall be determined as follows:

a) No later than 10 minutes before the scheduled start time of the first race in the next round of an event, all crews racing in that round of that event shall indicate the crew's preferred lane for that round to an official designated by the President of the Jury.

当該イベントの次のラウンドの最初のレースの予定開始時刻の 10 分前までに、当該イベントの当該ラウンドでレースに参加する **全てのクルー** は、当該ラウンドにおけるクルーの **希望レーン** を、審判長が指名した役員に示すものとする。

b) A crew's selection of preferred lane for the quarterfinal round will also apply to the semifinal and final rounds.

準々決勝ラウンドでクルーが選択した優先レーンは、準決勝ラウンドと決勝ラウンドに適用される。

→ **変えることはできない**

ラウンドを進めていくにつれ、レーンコンディションも変わる可能性もあり、速い選手がその都度好きなレーンを選ぶことができない現在のルールに異論を唱えるコーチもいましたが、ルールで決められている以上は従うしかない状況でした。

ビーチスプリントのルールは変わり続けており、このレーン選択のルールもいずれ見直されることもあるのかもしれませんが、QF でのレーン選択がいかに重要であるかがわかりました。

【最後に】

今回初めての中国渡航でしたが、OC はビザの発行や空港の送迎など、渡航前からとても親切に対応してくれました。上海空港には世界選手権のデジタルサイネージがあり、ローイング歓迎ムードで到着しました。上海からの便だったので、片道 4 時間近い送迎でしたが、ボランティアがウェルカムボードをもって空港で出迎えてくれたり、朝食も準備してくれたりと至れり尽くせりでした。



デジタルサイネージ



ウェルカムボード



お土産と審判シャツ

今年は中国で世界選手権が行われ、来年は世界ビーチスプリントと世界コースタルが中国・青島で行われます。今後益々ローイングの盛り上がりを見せてくれることと思います。

最後に、いつもながら審判休暇を認めてくれた勤務先（東京都ローイング協会）、昨年に引き続き送り出してくれた家族に心から感謝するとともに、今大会に審判派遣いただきました日本ローイング協会に感謝いたします。ありがとうございました。



ネーションズディナーでの ITO、NTO



ITO、NTO 集合写真